

海外安全対策情報  
平成26年度第4四半期(平成27年1月～3月)

1 社会・治安情勢

サンパウロの治安は依然として回復の兆しを見せず、サンパウロ市及び周辺の都市においては、拳銃を使用した強盗事件や強盗殺人事件などの凶悪事件が昼夜を問わず多発している。また、パウリスタ大通りを中心に、様々な目的を掲げるデモが継続的に発生している。

2 一般犯罪・凶悪事件の傾向

1. サンパウロ州保安局が公表した犯罪統計によると、今期は前年同期と比

べ、殺人や強盗といった凶悪犯罪の発生は微減しているものの、依然として予断を許さない状態にある。特に、邦人被害が多発している強盗事件は昼夜間を問わず発生しており、そのほとんどが拳銃を使用したものであることから注意が必要である。

1. 邦人被害

ア 1月16日午後5時頃、被害者がジャルジン・エステル・ヨランダ地区に車両を駐車した際、18歳前後の肌の浅黒い二人組の男が現れ、車両から降りよう命じた。被害者が指示に従い降車すると、男らはそのまま車両に乗り込み走り去った。なお、車両は後日警察により発見、被害者に返還された。

イ 1月27日午後2時15分頃、被害者がジャルジン・パウリスタ地区を徒歩にて通行中、背広を着た黒人の男とすれ違った際に「ヘロージオ(時計)」と三度ほど声をかけられた。被害者は、ライターを貸してくれと言っているものと勘違いし戸惑っていると、男は被害者の前に立ち塞がり拳銃を見せつけ、再度「ヘロージオ」と強要したことから、被害者がズボンのポケットから財布を取り出し現金を渡そうとしたところ、いきなり腕時計を奪って逃走した。

ウ 3月1日午後5時頃、被害者がアビリオ・ソアレス通り沿いのスーパーマーケットへと徒歩で向かっていたところ、いきなり若い男に後ろから肩を組まれ、「Dinheiro(現金)、Celular(携帯電話)」と言われた。拳銃や刃物を持っているような仕草をしたため、被害者は財布を出し、財布の中の現金全て(400レアル強)を渡したところ、男はそのまま立ち去った。

エ 3月8日午後9時頃、被害者がジャルジン・パウリスタ地区を徒歩にて通行中、いきなり男に後ろから肩を組まれた。男は被害者のズボンの後ろポケットに入れていた財布と携帯電話を奪いそのまま逃走した(賊は2人組であった。)

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ事件の発生は認知していないが、現金を目的とするATMの爆破はサンパウロ市内を中心に多数発生している。

### 4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害は認知していないが、今期誘拐事件は、サンパウロ州内で8件発生している。

### 5 日本企業の安全に関わる諸問題

当該諸問題に関する情報には接していない。

在サンパウロ日本国総領事館

Av Paulista 854 Sao Paulo SP

TEL 3254-0100